# 

# ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition

# Microsoft Entra ID 認証について

株式会社 ZenmuTech

目次

1. ZEI	NMU Virtual Drive Enterprise Edition の認証について	3
1.1.	ZEE について	3
1.2.	ZEE の認証について	3
1.3.	ZEE の Entra ID 認証について	3
1.4.	PC の ZEE が ZENMU クラウドサービスに認証を確認するタイミングについて	4
1.5.	Entra ID 認証のご注意事項	4
1.5	.1. Microsoft Entra ID Service 障害時の ZEE への影響について	4
1.5	.2. Microsoft Entra ID の障害情報	5
1.5	.3. Microsoft Entra ID Service の障害に備えて	5
2. Ent	tra ID 認証で ZENMU クラウドサービスヘログインする方法	5
2.1.	ZENMU クラウドサービスへログインが必要な操作	5
2.2.	ZENMU クラウドサービスへログイン方法	5
3. ZE	E の Entra ID 認証について	3
3.1.	ZEEから Entra ID に認証を確認する方法について	3
3.1.	.1. ZEE をご利用時の Entra ID 認証方法(リフレッシュトークンの取得)	3
3.1.	.2. ZEE をご利用時の Entra ID 認証方法(リフレッシュトークンの有効期限内)	Э
3.1.	.3. ZEE でのリフレッシュトークン保持状況	Э
3.1.	.4. リフレッシュトークンの有効状態	Э
3.1.	.5. リフレッシュトークンの有効期限が切れた場合の ZEE の動作1	C
4. Ent	tra ID 認証で ZEE を使用する際に Microsoft Entra ID に必要な設定1	1
4.1.	Entra ID のエンタープライズアプリケーションに「ZVD_Server」の登録と権限の付与1	1
4.1.	.1. エンタープライズアプリケーションに「ZVD_Server」の登録1	1
4.1.	.2. 一般ユーザーに対する管理者の同意の付与の方法1	5
4.2.	Entra ID の一般ユーザーの設定1	3

# 改訂履歴

発行日	改定内容
2024/09/30	初版発行
	変更 :1.4. ZENMU クラウドサービスに認証を確認するタイミングについて、仮想ドライブ拡張時
	を追加

# 1. ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition の認証について

本章では、ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition(以下、ZEE)の認証についてご説明します。

# 1.1. ZEE について

ZEEは、独自の秘密分散処理アルゴリズムにより、作成した仮想ドライブのデータをPCとクラウド上に分散して保存します。 仮想ドライブのデータは、PCとクラウド上のデータが揃った場合のみ復元可能です。PC単体では仮想ドライブ中のデータを復 元不可能に、データを無意味化するセキュリティソリューションです。

# 1.2. ZEE の認証について

ZEEの認証はメールアドレス・パスワード認証(以下、パスワード認証)と、Microsoft Entra IDのアカウントでの認証(以下、Entra ID 認証)、okta アカウントでの認証(以下、okta 認証)の3つの方法があります。

Entra ID 認証の場合も、ZEE に Entra ID のユーザープリンシパルネーム(= Microsoft 365 のログイン名)の登録が必要です。Entra ID から自動的に引き継ぐことはありません。

お客様単位でパスワード認証、Entra ID 認証、okta 認証を混在させることはできません。会社で両方の認証をご利用したい 場合は、別の ZEE のテナントを用意する必要があります。ただし、異なるテナントで、同一の ZEE のユーザーID を登録すること はできません。

必要な場合は、ZenmuTech 営業にご相談ください。

# 1.3. ZEE の Entra ID 認証について

# (1) Entra ID 認証ご利用の条件

Entra ID 認証は、お客様が既に Entra ID のアカウントをお持ちで、かつ、Entra ID にユーザープリンシパルネーム(= Microsoft 365 のログイン名)を登録されている場合のみご利用いただけます。ZenmuTech 経由で Microsoft 365 など Entra ID の使用を申し込むことはできません。

# (2) Entra ID のエンタープライズアプリケーションの登録について

ZEE の Entra ID 認証をご利用いただくためには、Entra ID のエンタープライズアプリケーションに ZEE の 「ZVD\_Server」を事前にご登録いただくなど必要な準備があります。詳細は、「<u>4. Entra ID 認証で ZEE を使用する</u> 際に Microsoft Entra ID に必要な設定」をご参照ください。

# (3) ZEE のユーザー登録について

Entra ID のユーザープリンシパルネームを、ZENMU クラウドサービスに ZEE のユーザーとして登録が必要です。



Entra ID の登録内容(ユーザープリンシパルネーム)が自動的にリンクされるなどの機能はございません、ご了承ください。

多数のユーザーを一括登録するため、tsv ファイル(タブ区切りのテキストファイル)による一括取り込み機能をご用意しています。詳細は、別マニュアル「ZEE 管理者\_Ver2.0\_ZENMU クラウドサービス Web 管理編」をご確認ください。以下のリンクよりダウンロード可能です。

https://zenmutech.com/resource/onmanual-system

#### (4) Entra ID 認証をご利用時の ZEE のユーザー認証について

実際の認証は Entra ID 側で行い、認証結果を ZENMU クラウドサービスで受け取ります。そのため ZENMU クラウドサ ービスへパスワードを登録する必要はありません。

詳細は「<u>3. ZEE の Entra ID 認証について</u>」をご参照ください。

# 1.4. PC の ZEE が ZENMU クラウドサービスに認証を確認するタイミングについて

ZEE はクラウドモード、オフラインモードに関わらず、ZEE の以下の動作のすべてのタイミングで ZENMU クラウドサービスに認証 情報を確認します。

- ・ 仮想ドライブのマウント、アンマウント
- ・ ロールバックデータの保存/ロールバック、フルバックアップ/フルバックアップの復元
- ・ クラウドモード/オフラインモードへの切り替え、オフラインストレージの設定・削除
- ・ 「ZEE の設定」画面の表示(マウント中 ZENMU ツールバーでの確認、および ZENMU モードスタート画面から表示時)
- ・ 外部ストレージの接続確認(「ZEE の設定」画面より「外部ストレージ」-「接続確認」を選択時)
- ・ ストレージ切断後「仮想ドライブが利用不可」の状態から、ストレージ接続後の「仮想ドライブが利用可能」の状態になる 時
- ・ 仮想ドライブ ロック/ロックの解除(ZENMU クラウドサービスからの Push 通知の受信)
- ・ 仮想ドライブのロックの状態確認(PCより15分間隔でポーリング)
- ・ 仮想ドライブのサイズ拡張(「ZEE の設定」画面より「仮想ドライブ」-「仮想ドライブのサイズ」より「拡張」を実行時)
- ・ ログのアップロード、バージョン確認 など その他のすべての ZEE の動作

# 1.5. Entra ID 認証のご注意事項

# 1.5.1. Microsoft Entra ID Service 障害時の ZEE への影響について

Microsoft Entra ID Service に障害があった場合、障害の状況によっては ZEE の Entra ID 認証ができなくなり、クラウド モードで仮想ドライブのマウント・アンマウントができなくなるなど問題が発生します。また、「<u>1.4. PC の ZEE が ZENMU クラウド</u> <u>サービスに認証を確認するタイミングについて</u>」に記述したすべてのタイミングで、認証失敗のメッセージが表示されます。

障害の復旧は Microsoft 側次第となります。ご了承ください。

# 1.5.2. Microsoft Entra ID の障害情報

Microsoft は Entra ID Service の状態を Web サイトで公開しています。Entra ID 認証に失敗した場合は、Entra ID Service の障害状況を確認することができます。

- Entra IDの状態の履歴 <u>https://azure.status.microsoft/ja-jp/status/history/</u>
- ・ Entra ID の状態 https://azure.status.microsoft/ja-jp/status

また、以下の Microsoft の Web サイトより障害情報の通知をカスタマイズして受け取ることが可能です。

 Entra ID Health <u>https://azure.microsoft.com/ja-jp/get-started/azure-portal/service-health/</u>

# 1.5.3. Microsoft Entra ID Service の障害に備えて

Entra ID Service の障害で Entra ID 認証に失敗し、クラウドモードで仮想ドライブのマウント等ができない場合でも、オフラ インモードの場合はマウント等が可能です。

万が一の場合に備えてオフラインストレージを設定し、クラウドモードでご使用中もオフラインストレージを接続することをご推奨いたします。

# 2. Entra ID 認証で ZENMU クラウドサービスヘログインする方法

本章では、Entra ID 認証で ZENMU クラウドサービスへログインする方法についてご説明します。

# 2.1. ZENMU クラウドサービスへログインが必要な操作

以下の際に ZENMU クラウドサービスへログインが必要です。

- (1) 仮想ドライブ作成時
- (2) 仮想ドライブをご利用中、Entra ID のリフレッシュトークンの有効期限(90日)が切れた後の再認証時
- (3) Web ブラウザより ZENMU クラウドサービスへログインし、仮想ドライブのロックや、ユーザーの作成等を行う場合 https://zee.zenmutech.com/user/signin

# 2.2. ZENMU クラウドサービスへログイン方法

Entra ID 認証の場合は、以下の手順で ZENMU クラウドサービスへログインします。

 仮想ドライブ作成時(上)、Web ブラウザで ZENMU クラウドサービスへログイン時(下)に「Microsoft でログイン」を クリックします。

🖘 サインイン			)
		English	
	アカウントの認証を行います		
	D 連携でログイン <b>Microsoft でログイン</b>		
	コーザーID ID と パスワードでログイン		
	パスワード		
	<ul> <li>パスワードを表示</li> <li>ログイン</li> </ul>		



Copyright 2021 - 2024 ZenmuTech, Inc. All Rights Reserved.

Microsoftの「アカウントを選択する」画面が表示された場合は、ご自分のアカウント(ユーザープリンシパルネーム(= Microsoft 365のログイン名))を選択、または入力します。



.

・ 続けて Microsoft の「パスワードの入力」画面が表示された場合は、パスワードを入力し「サインイン」をクリックします。



・ 仮想ドライブ作成時は作成ウィザードが表示されます(上)。Web ブラウザで ZENMU クラウドサービスヘログイン時 (下)はログイン後の画面が表示されます。

ZENMU Virtual Desktop 仮想ド	ライブ設定				×
仮想ドライブの基本設定を行	います。				
仮想ドライブ名:	ZVDesktopドラ	イブ			
仮想ドライブ文字:	Z:	~			
仮想ドライブのサイズ:	500MB	$\sim$			
				詳細設定	
			< 戻る(B)	次へ(N) >	キャンセル

	AA7-Fae	ログイン	ログアウト	◎ 管理者のメニューへ
			🝺 test0 🌐 Supp	1.zenmu01@zenmutech.com ort Test1-2
ć	■コンピュー 現在この仮想ドラ	ター名: LAPT ティブは利用可	OP-2PRR5J21 能な状態です	
	仮想ド	ライブをロッ	クする	
			更新	日時: 2021-11-11 17:26:35

# 3. ZEE の Entra ID 認証について

本章では、ZEEの Entra ID 認証についてご説明します。

#### 3.1. ZEE から Entra ID に認証を確認する方法について

ZEE は OpenID Connect 認証プロトコルを利用して、Entra ID 認証を実現しています。 実際には Entra ID から PC へ発行されるトークンを利用し、ZENMU クラウドサービスが Entra ID に認証を確認し、確認結 果を受け取ります。そのため、ZEE では Entra ID に設定されたパスワードは保持しません。

# 3.1.1. ZEE をご利用時の Entra ID 認証方法(リフレッシュトークンの取得)

ZEE は以下の場合に、Entra ID にリフレッシュトークン発行依頼をし、発行されたトークンを PC に保存します。

- エンドユーザーが初回に ZENMU クラウドサービスへログイン時(仮想ドライブ作成時、または Web ブラウザより直接ログイン時)
- Entra ID が発行したリフレッシュトークンの有効期限(90日)が切れた時
   「3.1.5. リフレッシュトークンの有効期限が切れた場合の ZEE の動作」をご参照ください。

以下にリフレッシュトークン取得の概略をご説明します。

- ZEE ログイン画面の「Microsoft でログイン」をクリックし ZENMU クラウドサービス接続します。 ユーザーが既に Entra ID にログイン状態の場合は、アカウント情報を Entra ID に渡します。 (その場合は以下の③、④は行われません。)
  - PC の ZEE は直接 Entra ID にアクセスしません。 ZENMU クラウドサービスを経由してアクセスします。
- ② ZENMU クラウドサービスは、Entra ID にリダイレクトします。(ZEE は Entra ID の認証情報を保持していません。)
   ・ ZENMU クラウドサービスでは、Microsoft Graph の API を使用して、Entra ID にアクセスします。
- ③ Entra ID はユーザーに認証画面を返します。
- ④ ユーザーが Entra ID に認証情報(ユーザープリンシパルネーム(= Microsoft 365のログイン名)とパスワード)を入 力します。
- ⑤ Entra ID は認証が成功した後、トークン(id トークン、リフレッシュトークン【有効期限 90 日】等)を発行し、ZENMU クラウドサービスを通して、ユーザーの PC(ZEE)に返します。
- ⑥ PCのZEEはトークンを保存します。リフレッシュトークンの有効期限内(90日間)は本トークンを使用します。
  - ・ PCのZEEのDBでリフレッシュトークンを保持します。
    - ZENMU クラウドサービスでは、リフレッシュトークンおよび、Entra ID の認証情報は保持しません。ZEE のユーザー ID を保持します。



Copyright 2021 - 2024 ZenmuTech, Inc. All Rights Reserved.

# 3.1.2. ZEE をご利用時の Entra ID 認証方法(リフレッシュトークンの有効期限内)

ZEE は Entra ID が発行し、PC(ZEE 内)に保存したリフレッシュトークンを使用して、Entra ID に認証の確認を行いま す。Entra ID が発行したリフレッシュトークンの有効期限(90 日)切れていた場合は、ZENMU クラウドサービスに有効期 限切れを返却します。

- ① ZEE は、ZENMU クラウドサービスにリフレッシュトークンを渡し、アクセストークンの取得を試みます。
- ② ZENMU クラウドサービスは、Entra ID にリフレッシュトークンに対応したアクセストークンを要求し、結果を受け取ります。
- ③ ZENMU クラウドサービスは、アクセストークンの取得結果を ZEE に返します。
- ④ ZEE はアクセストークンより Entra ID のユーザープリンシパルネーム(UPN)を使い、ZENMU クラウドサービスのユーザ ーID が存在するか確認します。
  - ・ ZEE は PC のメモリに保存し、ZEE の終了時に破棄します。
  - ・ ZENMU クラウドサービスのユーザーID と照合が出来た場合は仮想ドライブの作成、仮想ドライブの作成後はマウン ト等が可能になります。



# 3.1.3. ZEE でのリフレッシュトークン保持状況

ZEE は、リフレッシュトークンを DB に保持しています。

ID トークン、リフレッシュトークンの有効期限は保持していません。リフレッシュトークンの有効期限は、リフレッシュトークンを発行時に、Entra ID がリフレッシュトークン内に設定します。

アクセストークンは、ZEEの終了まではメモリ上に保持します。ZEE終了時にアクセストークンはメモリから消去します。

#### 3.1.4. リフレッシュトークンの有効状態

ZEE は、リフレッシュトークンからアクセストークンを取得するとき、ZENMU クラウドサービスサーバー経由で Entra ID にアクセスします。

Entra ID がアクセストークンを発行し、ZENMU クラウドサービス経由で ZEE にアクセストークンが返却された場合は、リフレッシュトークンは有効であったということが分かります。

リフレッシュトークンが期限切れの場合、ZENMU クラウドサービスサーバーは HTTP ステータスコード 400 または 401 を返却 します。

# 3.1.5. リフレッシュトークンの有効期限が切れた場合の ZEE の動作

ZEE はリフレッシュトークンを使用して Entra ID に認証を依頼します。リフレッシュトークンの有効期限が切れていた場合は Entra ID が有効期限(90 日)切れを ZENMU クラウドサービスに返却し、ZEE は認証切れの画面を表示し、再認証を 促します。

そのため、ユーザーは再度 ZENMU クラウドサービス経由で Entra ID ヘログインが必要になります。(トークン発行のフローは 「3.1.1 ZEE をご利用時の Entra ID 認証方法(リフレッシュトークン等の取得)」をご参照ください。)

Entra ID は認証に成功すると、新たにリフレッシュトークンを発行し、ZENMU クラウドサービス経由で ZEE がリフレッシュトークンを取得します。

リフレッシュトークンの有効期限が切れた場合、以下の様なメッセージが表示されます。マウントする際、ロールバックデータの保存の際などZEEの動作でメッセージの内容が変わりますが、「再度認証してください。」とメッセージ中に表示されます。



#### 「はい」をクリックすると ZEE のログイン画面が表示されます。

🐏 サインイン		×
	English	
	アカウントの認証を行います	
	ID 連携でログイン	
	III Microsoft でログイン	
	ID と パスワードでログイン	
	⊥-∜-1D	
	パスワード	
	□ パスワードを表示	
	ログイン	

# 4. Entra ID 認証で ZEE を使用する際に Microsoft Entra ID に必要な設定

本章では、Entra ID 認証で ZEE を使用するために、Entra ID 側に必要な設定をご説明します。

# 4.1. Entra ID のエンタープライズアプリケーションに「ZVD\_Server」の登録と権限の付与

Entra ID 認証を行うために、Entra ID のエンタープライズアプリケーションとして「ZVD\_Server」(「ZENMU クラウドサービス」の Entra ID 内での登録名)を登録し、一般ユーザーに利用権限の付与を行う必要があります。

※ ZVD は ZEE の旧製品ですが、Entra ID のエンタープライズアプリケーションとしては同一のため、「ZVD\_Server」を登録する必要があります。

# 4.1.1. エンタープライズアプリケーションに「ZVD\_Server」の登録

「ZVD\_Server」は Entra ID のエンタープライズアプリケーションの、アプリケーションギャラリーに登録されています。アプリケーションギャラリーから「ZVD\_Server」をエンタープライズアプリケーションに登録します。

Entra ID の「アプリケーション管理者」、または「クラウド アプリケーション管理者」の役割ロール以上を持つ管理者で以下の手順を実施します。

① Entra ID のトップページから左ペインの[エンタープライズアプリケーション]を選択し、[新しいアプリケーション]を選択します。

🔲 Microsoft Azure	○ リソース、サービス、ドキュメントの検索	(G+/)	D 🖟 🖉 🎯 1	CAppAdmin01@azrzvdt 2 CAppAdmin01@azrzvdt
ホーム > ZenmuTech.inc. > エンタ === エンタープライズ フ	ァーブライズ アブリケーション アプリケーション すべ゛	てのアプリケーション (プレ	ノビュー)	×
ZenmuTech,inc Azure Active	Directory	<b>-</b>	/	
模要		ン じ 更新   🕤 ブレビューの清報	ミ   ≡≡ 列   🖬 ブレビュー機能	♡ フィードバックがある場合
<ol> <li>概要</li> </ol>	() 従来のエンターブラ	(ズ アプリ検索のエクスペリエンスに切り替えま	すか?クリックするとブレビューが終了します。	→
★ 問題の診断と解決	アブリケーションの種類	アプリケーションの状態	アブリケーションの可	視性
管理	129-75127795	-932 V 347	<u>ک</u> کر	✓ ###
🏭 すべてのアプリケーション (プレビュー)				リセット
📮 アプリケーション ブロキシ	アプリケーションの名!	fまたはオブジェクト ID で検索します		
◎ ユーザー設定	名前	オブジェクト ID	アプリケーション ID	ホームページ URL
セキュリティ	結果がありません			
🏪 条件付きアクセス				
⑦ 同意とアクセス許可				

② 「アプリケーションを検索」欄で「ZVD\_Server」と入力し検索します。

😑 Microsoft Azure 🔎 リソース、サービス、ドキュメ	トの検索 (G+/)	D G	Ø	0	?	٢	CAppAdm	iin01@azrzvdt ZENMUTECH,INC.
ホーム > ZenmuTectvinc. > エンタープライズ アブリケーション Azure AD ギヤラリーの参照 (プレビュ + 独自のアブリケーションの作成 ① 新しバギャラリーアブリを3	ー) 1次する │ ♡ フィードバックがある場合							×
() 以前のアプリギャラリーエクスペリエンスに戻すには、こちらをクリック	UT<だきい。→							
<ul> <li>アブリケーションを検索</li> <li>クラウド ブラットフォーム</li> </ul>	ッングル サインオン:すべて ユーザー アカウント・	D管理:All	<u></u>	(IJ:す/	×τ			
Amazon Web Services (AWS)	Google Cloud Platform				6	Ora	kcle	

③ 表示されたアプリケーションから「ZVD\_Server」を選択し、「ZVD\_Server にサインアップ」をクリックします。

■ Microsoft Azure P リソース、サービス、ドキュメントの検索 (G+/)		D & Q & Ø /	示 gadm@azr.zvdtest.net 🔹 展定のディレクトリ (AZR.ZVDTES
ホーム > Azure AD ギャラリーの参照 …	ZVD_Serve	r	×
+ 独自のアプリケーションの作成 🛛 🔗 フィードバックがある場合	7-ドバックがある 0	る場合 名前★ ①	
Azure AD アプリキャラリーは、シンクル サインオン (SSO) と自動ユーザー プロビジョニングの展開と構成を簡単にする数千のアプリのカクログです。ア に接続することができます。ここで独自のアプリケーションを参照または作成してください。他の組織が検出して使用できるように、開発したアプリケーシ 記事。		ZVD_Server 発行元 ① ZenmuTech, Inc	プロビジョニング ⊙ 自動プロビジョニングはサポートされてい
ア         マ         ×         シングル サインオン:すべて         ユーザー アカウントの管理: All         カテゴ           ・フェデレーション SSO ② プロビジョニング中         ・プロビジョニング中         ・         ・         ・         ・         ・         ・         ・         ・         ・         ・         ・         ・         ・         ・         ・         ・         カテゴ         ・         <	<b>Z E N</b> M U	シングル サインオン モード ①	ません URL ①
1 件の結果の 1 を表示しています		リンクされたサインオン OpenID 接続ペースのサインオン	https://zenmutech.com/
ZVD_Server ZermuTech, Inc ZENMU		ZVD_Server is a management so (ZVD)" to manage setting, statu	erver for "ZENMU Virtual Desktop is, registration, and authentication.
	ZVD_Server にサイ	インアップ	

④ 従来製品の ZVD(ZENMU Virtual Desktop)の ZENMU クラウドサービスのログインページが表示されます。
 Entra ID のアプリとしては ZVD と ZEE は区別されないため、最初に登録された ZVD の画面がデフォルトで表示されます。
 <u>ZEE をご利用いただく場合は、次の手順⑥で画面を切り替える</u>必要があります。

https://zaas.zenmutech.com/user/signin

※ ZVD は ZEE の旧製品ですが、Entra ID のエンタープライズアプリケーションとしては同一です。ZenmuTech 内で アプリケーションを分けています。Entra ID に最初に登録した ZVD の認証画面がデフォルトとして表示されるので、 ZEE の認証画面に切り替える必要があります。

ZENMU		仮肌ドライブ	パスワード変更	0942	ログアウト
	Microso	ft Azure AD アカ!	ウントでログイン		
	ID (メールアドレス)			-	
	)(スワード			0	
		ログイン		_ 0	
	10	(スワードを忘れた場	合はこちら		

#### ※注意

デフォルトでは従来製品の ZVD の画面が表示されます。 ZEE の URL より ZEE の画面に切り替える必要があります。 ⑤ 表示された画面の URL 入力欄で以下のアドレスを手動で入力し、ZEE の ZENMU クラウドサービスのログインページに 切り替えます。

https://ze	e.zenmut	ech.com/us	ser/signin		
ZENMU		仮想ドライブ	パスワード変更	ログイン	ログアウト
					English
		ID 連携でログイ	、 ン		
		📕 Microsoft でロ	ヴイン		
		OR -			
	ユーザーID	ID と パスワードでロ	コグイン		
	パスワード			Ø	
		ログイン		-	

- ⑥ 「Microsoft でログイン」をクリックします。
- Microsoft の「アカウントを選択する」画面が表示された場合は、ご自分のアカウント(ユーザープリンシパルネーム(= Microsoft 365 のログイン名))を選択、または入力します。



続けて Microsoft の「パスワードの入力」画面が表示された場合は、パスワードを入力し「サインイン」をクリックします。

Microsoft	
← aaaa.bbbbb@cccc.dd パフロードの入力	
パスワードを忘れた場合	
	サインイン

⑦ 「要求されているアクセス許可」画面が表示されるので、「承諾」をクリックします。



⑧ 「エンタープライズアプリケーション」-「すべてのアプリケーション」に「ZVD\_Server」が表示されることを確認します。

	Microsoft Azure		、ドキュメントの検索 (G+/)		🚱 Copilot		🙆		
ホーム > エンタープライズ アプリケーション									
■ エンタープライズ アプリケーション   すべてのアプリケーション … × <sup> REC DF (V) VI </sup>									
	\$ «	十 新しいアプリケーション	ン 🖒 更新 🛓 ダウン[	]ード (エクスポート)	🕽 プレビューの情報	== 列   💀 プレビュー機	<b>給</b> 臣		
>	概要	Microsoft Entra テナントを ID プロバイダーとして使用するように設定されている、ご自身の組織内のアプリケーションを表示、フィルター処理、検索しま す。							
$\sim$	管理								
	すべてのアプリケーション	組織で管理されているアプリケーションのリストは、アプリケーションの登録にあります。							
	♥ プライベート ネットワーク コネク タ	₽ アプリケーションの名前	またはオブジェクト ID で・・・						
	찰 ユーザー設定	アプリケーションの種類	== エンタープライズ アプリク	·-ション × アプリケ-	ーション ID 次の値で始まる	× + フィルターの追カ	10		
	🖽 アプリ起動ツール	1 個のアプリケーションが見	つかりました						
>	📄 カスタム認証拡張機能	名前 ↑↓	オブジェクト ID	アプリケーション ID	ホームページ URL	作成日   ↑↓	証明書有效		
	セキュリティ	Z ZVD_Server	0cd05fbc-57be-40…	66734a62-dc32-4…		2023/5/19	-		
		4					►		

#### ※注意

Entra ID にエンタープライズアプリケーション「ZVD\_Server」を登録する際には、Entra ID の「アプリケーション管理 者」、または「クラウド アプリケーション管理者」の役割ロール以上を持つ管理者で実施してください。 ZEE に登録されているユーザーは、代表者のお一人のみとなっております。そのため、実質的には ZEE の代表者が Entra ID で「ZVD\_Server」を登録してください。

#### 4.1.2. 一般ユーザーに対する管理者の同意の付与の方法

Entra ID の一般ユーザーが「ZVD\_Server」を使用するために、一般ユーザーが「ZVD\_Server」を使用することに同意する 必要があります。

通常は、各ユーザーが「ZVD\_Server」に初回アクセスすると、「要求されているアクセス許可」画面が表示されるので、「承諾」 ボタンを押下することで、同意が完了します。

予め、管理者が「管理者の同意」の手続きを行っておくと、一括で一般ユーザーが使用する同意の付与が行われ、「要求されているアクセス許可」画面が表示されずに同意が完了します。

① 「エンタープライズアプリケーション」-「ZVD\_Server」をクリックします。



#### ② 「セキュリティ」-「アクセス許可」を選択します



③ 「(お客様名) に管理者の同意を与えます」をクリックします。



Copyright 2021 - 2024 ZenmuTech, Inc. All Rights Reserved.



⑤ 「要求されているアクセス許可」画面が表示されるので、「承諾」をクリックします。

Microsoft						
cappadmin01@azrzvdtest.ml						
要求されているアクセス許可 組織のレビュー						
ZVD_Server						
このアプリケーションは、Microsoft またはお客様の組織に よって公開されたものではありません。						
このアプリで必要なアクセス許可:						
◇ すべてのユーザーの完全なプロファイルの読み取り						
✓ Maintain access to data you have given it access to						
✓ Sign in and read user profile						
✓ Read all users' full profiles						
同意すると、このアプリは組織内のすべてのユーザーの指定のリソースにアクセ スできるようになります。これらのアクセス許可の確認を求めるメッセージは、 他のユーザーには表示されません。						
これらのアクセス許可を受け入れることは、サービス利用規約とプライバシー に関する声明で指定されているとおりにこのアプリがデータを使用することを許 可することを意味します。確認を行うための利用規約へのリンクが発行元 によって提供されていません。これらのアクセス許可は https://myapps.microsoft.com で変更できます。詳細の表示						
このアプリは疑わしいと思われますか? こちらでご報告ください						
キャンセル 承諾						

⑥ 「エンタープライズアプリケーション」-「ZVD\_Server」-「アクセス許可」で、「更新」をクリックします。

「管理者の同意」同意項目が表示されていることを確認します。

Microsoft Azure	- デーリンース、サービス、ドキュメンドの地市(G+1) E G 🖉 🛞 ? 💿 CAppAdmin01のazzavk 🔮						
市-ム > ZenmuTechunc. > )	エンタープライズ アプリケーション > ZND_Server						
2VD_Server	アクセス許可 ×						
18. 玩弄	* 🕐 更新 🗸 アクセス許可の確認 🛛 🋇 フィードバックがある場合						
× 問題の診断と解決	アクセス許可						
管理	ご使用のディレクトリに対するアクセス評判なアプリケーションに付与てきます。そのために必要なのは、管理者がすべてのユーザーのためにア						
11 Ja/(7+	プリケーションに同意すること(管理者の同意)、ユーザーが自分自身のためにアプリケーションに同意すること(ユーザーの同意)、または管理 サイアプリケーションにはからしてからアプリケーションに同意することがにするか、フーザーを実施アプリケーションに利用してスクトのいずのので						
A 形有音	す。管理者は2のディルクトリ内のすべてのユーザーに代わって同意を付けてきます。これにより、エンド ユーザーはアプリケーションを使用する						
2 ユーザーとグループ	ことに同意な不必られなことがなくなります。言葉言が可意を打ちするいよ、「WAFダンをクリアンします。 言葉音はこのディレクトリ内のすべてのユーザーに代わって同意を打ちてきます。これにより、エンドユーザーはアプリケーションを使用するとき						
Φ プロビジョニング	に同意を求められることがなくなります。管理者の同意を付与するには、下のボタンをクリックします。						
○ セルフサービス	(お客様名)に管理者の印度を与えます						
セキュリティ 管理表の回答 コーザーの回答							
🍓 条件付きアクセス							
🖧 アクセス許可	2772X前可的搜索						
♥ トークンの暗号化	API名 でよ 確原 すよ 植類 でよ 付ら方法 す。						
7974274	Microsoft Graph						
9 94242	Microsoft Graph View users' email address Delegated 管理者の同意						
(1) 使用け沢と分析情報 げしど	Microsoft Graph Maintain access to data you hav Delegated 智道者の阿意						
<ul> <li>Eznő</li> </ul>	Microsoft Graph Sign users in Delegated 管理者の同意						
<ul> <li>Malification and only</li> </ul>	Microsoft Graph View users' basic profile Delegated 智證者必問意						
Yucya	-7 Microsoft Graph Sign in and read user profile Delegated 電磁曲の問意						
#= 770×0C2-	Microsoft Graph Read all users' full profiles Delegated 管理者の同意						
トラブルシューティング + サポート	Windows Azure Active Directory						
響 伝想アシスタント (ブレビュー)	Windows Azure Active Direct. Read all users' full profiles Delegated 管理者の問意						
A 新しいサポート リクエスト	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						

⑦ 「エンタープライズアプリケーション」-「ZVD\_Server」-「プロパティ」で、ZVDを使用可能なユーザーを割り当てます。

ホーム > 既定のディレクトリ > エンターブライズ アプリケーション - すべてのアプリケーション > ZVD_Server - プロパティ								
<b>ZVD_Server - プロバティ</b> エンタープライズ アプリケーション								
«	□ 保存 × 破棄							
11. 概要								
💅 はじめに	ユーザーのサインインが有効になっていますか20 (はい) いいえ							
★ 問題の診断と解決								
管理	名前 ①	ZVD_Server						
# プロパティ								
🎍 所有者	ホームページ URL ①							
🖉 ユーザーとグループ		7UD 6						
プロビジョニング	- 14	ZennuTech, Inc						
📀 セルフサービス		2 E N M U						
セキュリティ								
<ul> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	アプリケーション ID ①	66734a62-dc32-42a4-8aa3-cb601b45172d						
* アクセス許可								
● トークン暗号化 (プレビュー)	オブジェクト ID ①	2a61604d-45ba-4a08-bf88-1ea52f18d81a						
アクティビティ	ユーザーの割り当てが必要ですか? ①							
∋ サインイン								
🚮 使用状況と分析情報 (プレビュ	ユーザーに表示しますか? ①							
監査ログ								

# 4.2. Entra ID の一般ユーザーの設定

ZEE を使用するには、Entra ID のユーザーに以下の設定が必要です。
(1) Entra ID エンタープライズアプリケーション「ZVD\_Server」の利用が割り当てられている事 (「4.1.2.一般ユーザーに対する管理者の同意の付与の方法」⑦ をご参照ください。)

(2) Entra ID にユーザープリンシパルネーム(= Microsoft 365 のログイン名)が登録されている事

# ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition Microsoft Entra ID 認証について

発行日:2024年12月9日

発行者:株式会社 ZenmuTech

連絡先:〒104-0061

東京都中央区銀座 8-17-5 THE HUB 銀座 OCT 804

- TEL 03-6260-6195
- FAX 03-6260-6197
- URL: <u>https://zenmutech.com</u>
- email : <a href="mailto:zvd-support@zenmutech.com">zvd-support@zenmutech.com</a>

無断複製・転載を禁じます。ZENMU Virtual Drive Enterprise Edition は、株式会社 ZenmuTech の製品です。 本手順書記載のサーバー製品、OS、アプリケーション等各製品の著作権は、その製造元もしくは販売元に準ずるものとなり ます。